

みんなの居場所

裏面の話題

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、語、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。

令和5年2月6日(月)

卒業前綴 じゃからの読書

卒業後の読書をこのように進めていくか、読書量も大切ですが、それと併せて「書物のジャンルの幅」が重要になってきます。最近の子供達は好きなジャンルばかりを集中して読む傾向が強くなり、読書の幅が狭くなりがちです。

現在の入試問題や面接、論文の傾向として、幅広く知識や自分自身の考えを問われることが多いのは周知の通りです。ちなみに私はこのような読書をしてきたか？それは、興味を持って取り組んだ活動と合わせて本を選ばないことです。釣りに興味があれば釣りの本、大河ドラマに興味をもちたら歴史の本、力×力に興味をもちたら力×力雑語……。今考えてみると、その時々の自分の自身の体験を、より充実させるために本を読んでいたのだと思います。

私の中学時代#の部活

中学校では小学校と違って、かなりの時間と労力を費やすのが部活動です。しかも、そこにはある友達、長く付き合っている仲間が多いという気がします。

気の合う仲間が多いと、最後まで続けることができます。3年間続けるということは、結構大変なのです。私の場合入部当初は先輩方から、かなり理不尽な指導もあったように思います。それが原因で部活動をやめる仲間もいました。私は学校からの帰り道、同じ回地に任んでいた友達と先輩の愚痴を言いながらストロースを飛ばしながら帰っていたことを思い出します。また、髪を見ながら帰ったり、将来のことをぼんやりと考えるながら帰ったり、部活後の帰り道は貴重な時間でした。だから部活をしないといっているわけではありませんが、部活が学ぶものは大きいと思います。私の個人的な意見としては、部活はテニスやバドミントンやサッカー、フェリスキルを学ぶだけでもいいかなと思います。フェリスキルを学ぶ絶対の場所だと思っています。

卒業前綴 卒業後、友達の口癖が劇的に変わった

卒業後現実味を感じました。残り少ない小学校生活を、しっかりと味わいながら過ごしてきたいものです。私も小学校の卒業式はほろほろ泣いていますが、楽しかったという思い出があるからと考えると思っています。

私は熊本市立城北小学校に入學しましたが、4年生からは麻生田小学校という新設校に通うことになりました。城北小学校がマンモス化したため、私は麻生田小学校に通うことになった訳です。麻生田小学校ができた場所でもとても野原が、私もよく遊んでいたところでした。又、高い草木が多く、また、大きな石も多かったように思っています。その土地を利用して、校舎、運動場ができた訳ですね。私は5年生の時、新校舎に入りまして、その廊下の広さ、校舎の臭い、今でも何となく覚えていて、しかし、運動場が大変です。私達の体育の時間は持久走か運動場作りでした。運動場は運動ができません。毎日草取りと掃除の時間を思っています。また、当時がけがなやケガが頻りに発生して、今、子供達に話すとSNSネタになっています。何気ない日常が、とても思い出深い、現在でも私の心の中心にしっかりと残っています。しかし、あの当たり前の記憶が、卒業式を境に劇的に変わります。卒業が近づくと、何となく、あの頃の記憶が、一日一日を積み重ねていく過程で、思い出が湧いてきます。

シリーズ「自分を語る」#00

玉支町小学校で仕事を始めて頂いた1年間、私にとって掛け替えのない時間となりました。振り返ると、私は小学校の初任者研修が本格的にスタートした時代(黒石原支援学校)当時(黒石原支援学校)に採用されていたので、うまく思い出して、小学校で必要なスキルを身に付ける研修を受けていました。それを必死に頑張って乗り越えて、玉支町小学校で、少しは余裕ができたように思っています。研修なんて、俺は関係ないなんて真剣に思っていましたから、教師としてのスキルが上がる訳がありません。そのような意味で玉支町小学校の1年間が無ければ、教師としての基礎は身に付かなかったかもしれません。

平成10年度末、その異動を意識した澤田です。少々、異動に対する不安もあり、落ち着いた日々を過ごしていました。何せ私は、16年の間に小学校の経験が3校しかなく、年齢は30代半ば。今後の自己に何が求められているのか、全く分からなくなりました。自分で何が求められているのか、自分の価値観とか、それが解らないというのは、前に進みたくて進めたくて不安です。あります。次の学校でも高学年とは限らないので、ほんのりとした不安が常に付きまとい、状況が続きました。

この1年、異動発表の日が来ず、校長先生、校長先生「どう言わねえよ」。

澤田先生「聞かなくていいです。良かったですね。異動先は玉支町立伊倉小学校です」。

私たちが教職員は、発表された後、さぞかし驚いていました。私には「住むのは、的々な場所に慣れました。今も長洲小学校で楽しんで、遣り甲斐のある仕事をさせて頂いています。(出来のところがいいところもいろいろあるな)と思ってます。新任地、伊倉小学校は、そのよきな仕事があるから、どうにか楽しみがあります。程々として、伊倉小学校へ挨拶の邪魔魔致しました。その時から、少々憂鬱な時間を過ごしているのです。(へい)

※ 「みんなの居場所」に関するご意見ご感想をお寄せください。(「みんなの居場所」への掲載の 可 ・ 不可)